

平成29年外務大臣表彰式：山田大使挨拶

皆様、こんにちは。

8月15日に着任しました駐ブラジル大使の山田彰です。

本日は、このように多くの方の出席を賜り、外務大臣表彰式を開催できることを大変嬉しく思います。

この度、日系人の地位向上あるいは日本文化・文学の普及に貢献された、ミノル・タカハシ氏、タエ・スズキ氏、オジビ・テイシェイラ・カルバーリョ・フィリョ氏、秋本満敏氏の4名に外務大臣表彰が授与されました。本日は外務大臣に代わりまして、4名の方々に表彰状及び副賞を授与致します。

4名の方々、誠におめでとうございます。また、ご家族・ご友人の方々にもお祝いを申し上げます。

それでは、4名の方々について、私からそれぞれの御功績を紹介させていただきます。

タカハシ氏は、サンパウロ州グアララペス市の市議会議員、副市長、さらには同市の日本人会役員として日系人の地位向上に貢献されました。特筆すべきエピソードとして、ブラジリアへの遷都について周りの理解が得られず孤立無援だった当時のクビチェッキ大統領に対して、「日本人ならセラードでも野菜を作れます」と同大統領の背中を押し、後日、大統領から感謝を述べられました。非常に行動力にあふれ、常に前向きなお方で、その姿勢は野球・ソフトボールの普及にも大きく発揮されました。現在も、ブラジリア日伯文化協会老人会の会長として、当地日系社会の活動を大いに盛り上げていらっしゃいます。

次に、スズキ先生は、40年の長きにわたり、サンパウロ大学やブラジリア大学といった名門大学で日本語教育の推進に尽力されました。スズキ先生を一言で表せば、「博学多才」。日本語・日本文学だけでなく、和食・陶芸・書道をはじめ、日本文化全般にも造形が深い方です。その才能を生かし、日本語のみならず、幅広い日本研究促進に大きく貢献されました。また、本日ご出席のアリセ・ジョウコウ先生をはじめとした多くのすばらしい後継者を輩出されました。サンパウロ大学日本語日本文学コースの教授8名中7名がスズキ先生の教え子とのことです。

オジビ氏は、10年に亘りブラジリア元留学生同窓会会長を務め、日本留学促進や帰国留学生のネットワーク強化に尽力されました。オジビ氏は人望厚く、周囲からの絶大な信頼、力強いリーダーシップによる成果の一つとして、ブラジル全土に点在する11の国費留学生同窓会を集めた全国会合の創設に尽力されたことが挙げられます。また、会長を引退されてからも、現役の同窓会幹部を支援しておられます。

最後に、秋本氏は、カンポ日伯農業開発株式会社にて、セラード開発計画における代表取締役として、日ブラジル間の技術協力および相互理解の促進に貢献されました。また、ブラジル中西部日ブラジル協会連合会会長としても、そのリーダーシップとバイタリティーで、2008年ブラジル日本人移住100周年式典に積極的に取り組まれました。さらに、ブラジリアのみならず、他州の日系団体との連携強化を促進しながら、当地における日系人の地位向上に貢献されました。

受賞者の方々のご功績の影には、ご家族の支え・協力があったものと拝察します。今回の受賞者4名のご功績に深甚な敬意を表すると共に、ご家族の皆様方にも私の敬意を表したいと存じます。

ありがとうございました。

山田 彰